

## 飯富（いとみ）遺跡

飯富遺跡は、JR内房線長浦駅より直線で南に2.7kmの距離にあり、小櫃川を南に臨む標高約41.5m～43.5mの台地上に位置しています。

また、当遺跡の北側には角山（すまやま）遺跡、北西側には伊丹山（いたみやま）遺跡、西側には平成29年10月に国史跡となった山野（さんや）貝塚など縄文時代後期（4,000～3,000年前）を中心とする遺跡が近接しています。

昭和54年、君津広域水道用水供給事業にともない、発掘調査が行われました。

発掘調査の結果、住居などの生活跡などは発見されませんでした。主に縄文時代早期（10,000～6,000年前）の土器や同時期に調理用に使われたと考えられる焼けた石の他に、縄文時代後期の土器が発見されました。



周辺遺跡



飯富遺跡出土遺物（縄文土器）